

小豆支部 活動報告

1 はじめに

現在の社会において、大量の情報から必要情報を取捨選択する能力が求められている。授業においては、様々なメディアを目的に応じて、効果的に活用することで生徒の意欲や理解の定着をより図ることができる。そのために、メディア活用の方法や技術のスキルアップをめざして研修を行った。

2 郡研究主題

メディア活用の目的を明確にした授業づくり

3 研究の概要

(1)メディア機器を効果的に活用した授業研究

(2)マクロを使ったエクセルの実技研修

(3)各校の研究内容の情報交換

4 研究内容

(1)メディア機器を効果的に活用した授業研究

英語の授業における実践例

- ・期日 平成24年6月21日(木)
- ・会場 小豆島町立内海中学校
- ・指導者 山田 昭広 教諭
- ・題材 プログラム3 Charity Work



・授業の概要

様々なメディア機器の活用をできるだけ取り入れ、効果的に用いることで、生徒の興味・関心を高めることができた。特に、導入の段階や終末の段階において、適宜メディア機器の活用を工夫していた。具体的に、DVD、CDなどメディアの活用の環境が整っている学校であったのでよい提案授業であった。

(2)マクロを使ったエクセルの実技研修

- ・期日 平成24年8月9日(木)
- ・会場 土庄町立土庄中学校
- ・講師 坂出中学校 糸瀬 善人 教諭
- ・研修内容

「マクロ」とは何か、まずエクセルのワークシート上に数字や計算式、関数などを記入して、様々な計算を行ってくれるソフトであるという説明から始まった。マクロを使用することで単一の操作のみならず、複数の操作もまとめて記録・実行できる。手作業で行う作業をマクロを使うことで肩代わりしてくれる便利な機能であることを学んだ。3時間の実技研修で、「マクロの記入」、「オブジェクトとプロパティ、メソッド」、「演算子と条件分岐」、「ループと変数」、「関数」について研修を行った。参加者のレベルにかなり差があったため考えていた以上に時間がかかった。講師の先生からは個々教員のレベルにあった指導を適切にいただき実り多い研修を行うことができた。

(3)各校の研究内容の情報交換

① 土庄中学校

ア 技術における活用

制御学習プロロボ(山崎教育システム株式会社)を用いて、フローチャートの配置により、簡単なマシン制御を行うプログラミング学習を行った。プログラミング学習を行うに当たり、フローチャートの配置を考える過程が、物事を筋道立てて考える力を育成することに役立っていると考えます。

イ 英語における活用

2年 PROGRAM7 で扱われている、環境保護活

動を行っているセヴァン・カリス＝スズキが12歳の時に地球環境サミットで行ったスピーチをインターネットのYouTubeで視聴した。ノートパソコンを教室の大画面テレビに接続し、無線LANでインターネットを活用した。音声だけでなく、映像とともに英語のスピーチを聞いたことにより、生徒の英語学習への意欲が高まっただけでなく、学習内容の理解も深まった。また、環境保護に対する考えを深めるよい機会となった。

ウ 保健体育における活用

1年生のフォークダンス学習の際に、実際に2年生が踊っているビデオをコンピュータに取り込んだものを活用した。体育館などのテレビモニターのない場所では、ノートパソコンは持ち運びがしやすく、たいへん役立った。また、自分たちの知っている先輩がフォークダンスの手本ということもあり、ダンスの振りを覚えるには効果的であった。

② 豊島中学校

ア 技術における活用

マルチメディア作品の製作や制御の学習でコンピュータを利用している。

イ 保健体育における活用

ダンス学習の際に、昨年のダンスをビデオ撮影したものを見て、隊形や振り付けの確認をしたり、剣道学習の際に、インターネット上の動画を見せたりした。

ウ 英語における活用

プレゼンテーションソフトを用いて、導入で人物あてクイズを行ったり、CDで本文や単語・音楽を聴いたりしている。

③ 池田中学校

ア コンピュータ教室を技術・家庭科の時間と総合的な学習の時間に利用している。技術・家庭科では、Webページの制作や制御の学習で活用している。総合的な学習の時間では、調べ学

習をするためにインターネットで検索を行ったり、池中文化祭の発表のためにプレゼンテーションソフトで発表会用の資料作りを行ったりしている。

イ 数学では、「関数」・「図形の移動」の題材で、コンピュータを活用し、動画を見せることで分かりやすい授業の工夫を行った。また、プレゼンテーションソフトを活用して教材づくりを行った。

ウ コンピュータ機器以外では、学級活動の時間にビデオ視聴による授業、英語のDVDを使つてのリーディング学習、音楽でのCD視聴の授業を行った。

④ 内海中学校

DVDデッキ、ノートパソコン、プロジェクターがほとんどの教室に常設されており、英語科をはじめ数学、音楽、理科、美術等ほとんどの教科でメディア機器の活用を行っている。メディア機器の活用を行う上で、環境が他の学校より整っているため各教員の活用能力に応じて効果的に活用している。

5 今後の課題

各校でメディア機器の環境が異なり、教室でコンピュータを活用する場合、プロジェクターを持ち込んでセッティングする必要があるなど課題のある学校もある。将来、学校の統合等により、今までより環境はよくなってくると思われるが、必要な時にすぐに活用できる環境の整備が大変重要である。また、メディア機器を活用しての授業を行うために、教員の資質向上や情報モラルについての研修をこれからも進めていかなければならない。今後、様々なメディア機器が導入され、それに対応できるように県・郡内の情報交換や充実した研修を行っていきたいと考えている。